

# 第13回 湿原再生小委員会

－ 幌呂地区湿原再生について －

# 目 次

## 1. 昨年度の事業実施箇所の状況報告

- 1-1. 幌呂地区湿原再生実施箇所の現地踏査について【平成24年度実施箇所】
- 1-2. 地下水位の観測結果報告
- 1-3. 切り下げ・埋め戻し後の状況（土壌の栄養塩類調査）
- 1-3. 切り下げ・埋め戻し後の状況（植生調査）

## 2. 平成25年度の実施内容について

- 2-1. 平成25年度の実施内容について

## 3. 地域との連携

- 3-1. 現地見学会（ヨシ移植会）の報告

# **1. 昨年度の事業実施箇所の状況報告**

## 1-1. 幌呂地区湿原再生実施箇所の現地踏査について【平成24年度実施箇所】

平成24年度地盤切り下げ実施箇所について、7月と8月の2度、植物の専門家とともに現地踏査を行いました。

### ◆目 的

植物の専門家とともに現地踏査を行い、植生の生育現状から湿原の再生状況について評価していただき、今後の湿原再生の参考とさせていただくものです。

#### ○現地踏査1回目

踏査日：平成25年7月9日（火）

専門家：北海道教育大学 教授 神田先生（湿原再生小委員会委員長代理）

同行者：釧路開発建設部 治水課及び釧路河川事務所職員

#### ○現地踏査2回目

踏査日：平成25年8月26日（月）

専門家：北海道教育大学 教授 神田先生（湿原再生小委員会委員長代理）

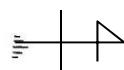
同行者：釧路開発建設部 治水課及び釧路河川事務所職員



# 1-1. 幌呂地区湿原再生実施箇所の現地踏査について【平成24年度実施箇所】

## 【平成24年度地盤切下げ箇所の切下げ深の説明】

- (1)区画: 当初計画では切下げ深は40cm。事前調査でオオアワダチソウが確認された箇所については更に20cm切下げ、地下水位-10cmとした。
- (2)区画: 当初計画では切下げ深は20cm。事前調査でオオアワダチソウが確認された箇所については更に20cm切下げ、地下水位-10cmとした。
- (3)区画: 当初計画からオオアワダチソウ駆除のため地下水位-10cmまで切下げるとした箇所。



### 凡 例

- 中の数字は掘削深
- 地盤切り下げ箇所
- 埋め戻し箇所
- 盛土箇所



7月9日撮影



8月26日撮影



7月9日撮影



8月26日撮影



7月9日撮影



8月26日撮影



7月9日撮影



8月26日撮影



## 1-1. 幌呂地区湿原再生実施箇所の現地踏査について【平成24年度実施箇所】

(1) 区画  
地下水位WL-10cm  
掘削深60cm



7月9日撮影

未利用排水路埋め戻し箇所



7月9日撮影

(2) 区画  
地下水位WL+10cm  
掘削深20cm



7月9日撮影

(3) 区画  
地下水位WL-10cm  
掘削深40cm



7月9日撮影



8月26日撮影

7月と同じく8月も広く湛水している。湛水頻度が高いためか、植物はあまり生えていない。



8月26日撮影

ヨシが繁茂しており湿原再生箇所としては良い状況に感じられた。



8月26日撮影

ハルタデが多く生えている。8月の踏査では、ハルタデの中にオオアワダチソウの侵入が見られた。



8月26日撮影

(1) 区と同様、湛水しているが、(1) 区より冠水頻度が低いためか植生が多く生えていた。中にはエゾミクリも見られた。



# 1-1. 幌呂地区湿原再生実施箇所の現地踏査について【平成24年度実施箇所】



## 1-1. 幌呂地区湿原再生実施箇所の現地踏査について【平成24年度実施箇所】

### 【現地踏査結果】

- ・全体的には、イヌスギナ、ミゾソバが広く生えており、湿性植物が回復していると思われる。
- ・未利用排水路の埋め戻し箇所でヨシの成長が早いのは土の栄養状態が良いからではなく、埋め戻した土に根茎が混入していたからと考える。種からでは数ヶ月でここまで大きくはならない。
- ・(2)区の20cm掘削深箇所では、ハルタデが優占しておりオオアワダチソウの侵入も見られた。
- ・同じ区の40cm掘削箇所の一部でオオアワダチソウが花を付けていた。たまたま小高い所に種が飛んできたのだと思われるが経過観察とする。

### 【切下げ深についての感想】

- ・切下げ深が20cmの箇所は、切下げ前の地盤の根が残っている可能性があり、切下げ深が足りない印象を受けた。
- ・切下げ深が40cmの箇所は、切下げ前の地盤に生えていた植物の根がほとんど残っていないと考えられ、切下げ深としては良いように感じた。

### 【今後に向けて】

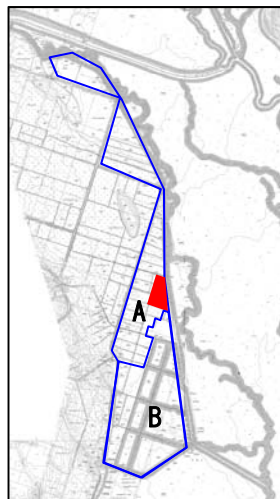
- ・今年度は切下げ後一年目であり、イヌスギナやミゾソバ、カズノコグサなど飛来した種子によるパイオニア種の侵入が見られた。
- ・今後、ヨシ主体の植物相へ変わっていくことが考えられることから、次年度以降も現地踏査が必要と考えられる。
- ・オオアワダチソウの侵入が確認された切下げ深が20cm箇所については、来年も調査を行い再切下げの必要性について検討する。



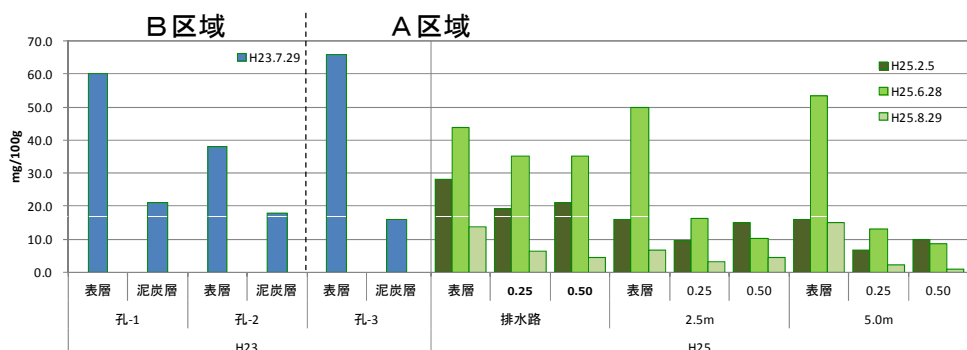
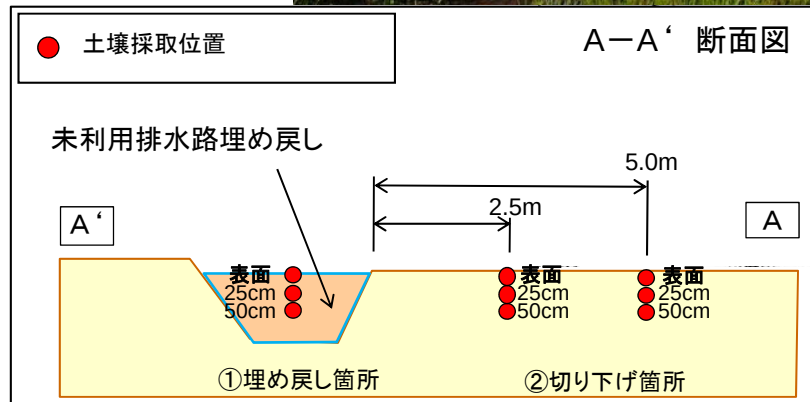
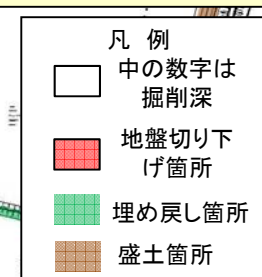
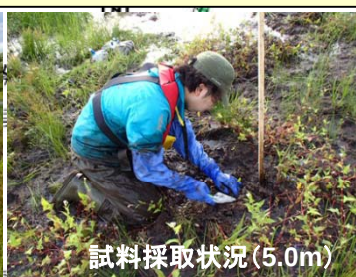
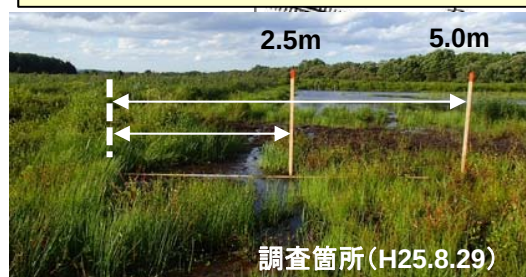
## 降雨：上幌呂雨量觀測所

-

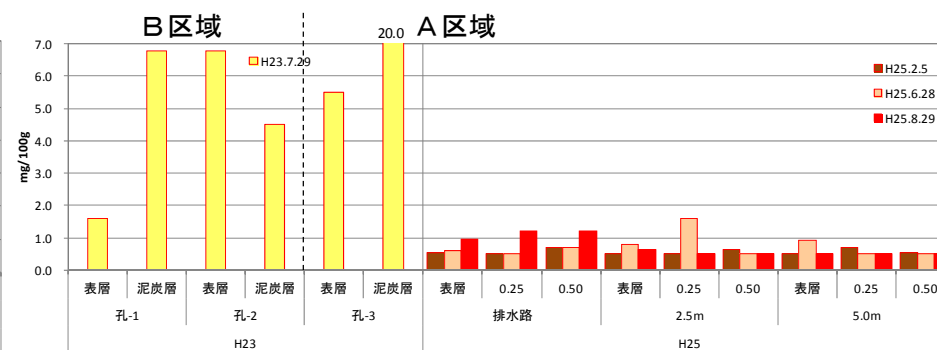
# 1-3. 切り下げ・埋め戻し後の状況（土壌の栄養塩類調査）



- ・平成24年度に埋め戻した未利用排水路と、そこから2.5m、5.0m離れた地点の可給態窒素及び有効態リン酸について、切り下げ直後、融雪後、夏期の3回について分析調査を行いました。（位置は下図参照）
- ・可給態窒素は、埋め戻し箇所では他地点より多少高い値でしたが、平成23年調査箇所の表層の値との比較では、全箇所これより低い値でした。また、農地利用されていないB区域と比較しても同等あるいは低い値でした。
- ・有効態リン酸は、全調査地点で1.0mg/100g前後の値を示し、近傍の平成23年調査箇所の値と比較しても、はるかに低い値でした。また、農地利用されていないB区域と比較してもはるかに低い値でした。



可給態窒素（測定限界値（＜1.0）以下は1.0mg/100gで表示）

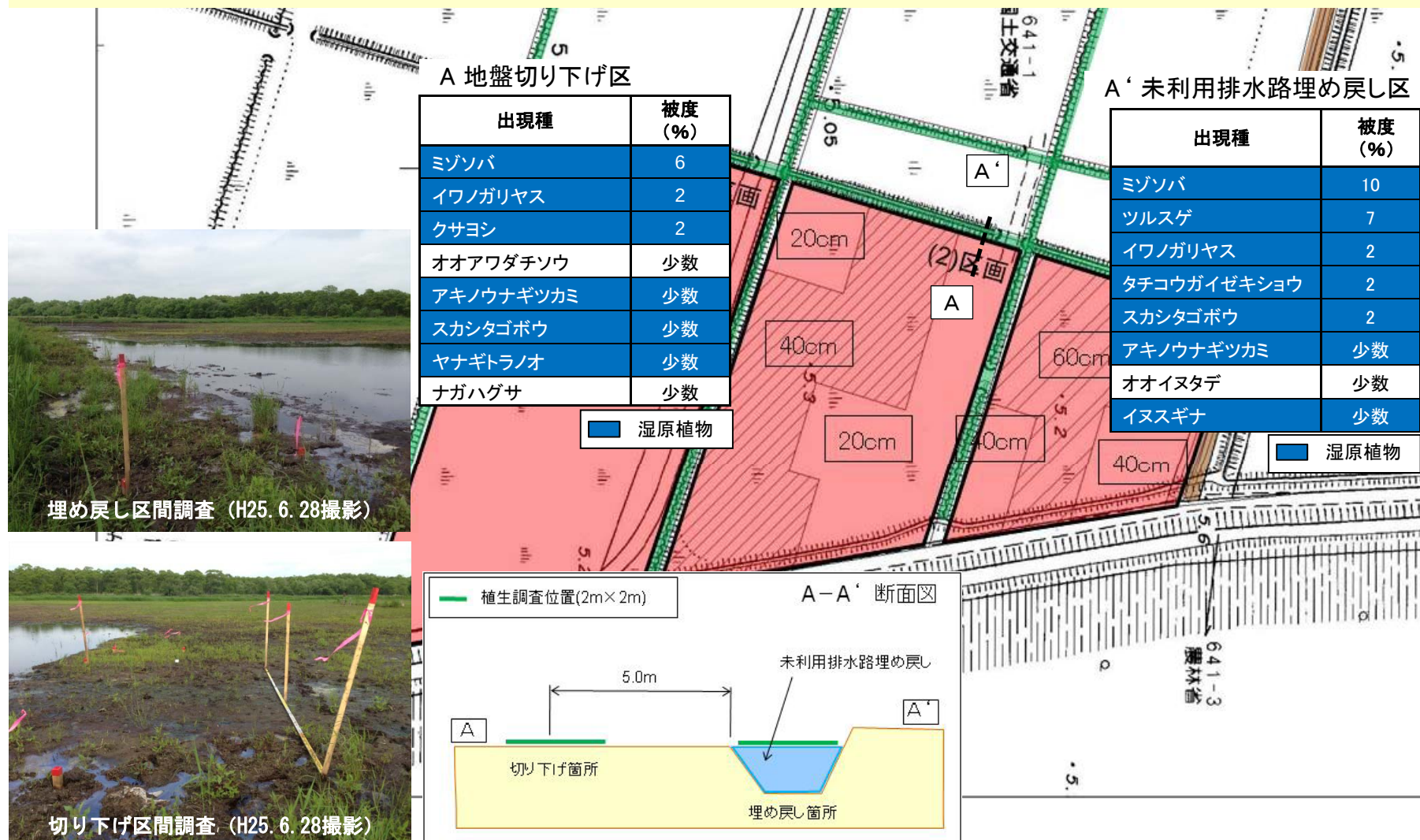


有効態リン酸（測定限界値（＜0.5）以下は0.5mg/100gで表示）



### 1-3. 切り下げ・埋め戻し後の状況（植生調査）

- ・ H25. 6. 13調査では、地盤切り下げ区・未利用排水路埋め戻し区で確認された全確認種の被度のうち、ほとんどが湿生植物で占められています。
- ・ 植生による被度は未利用排水路埋め戻し区の方が高い結果となりましたが、地盤切り下げ区、未利用排水路埋め戻し区ともミゾソバの被度が一番高い値でした。



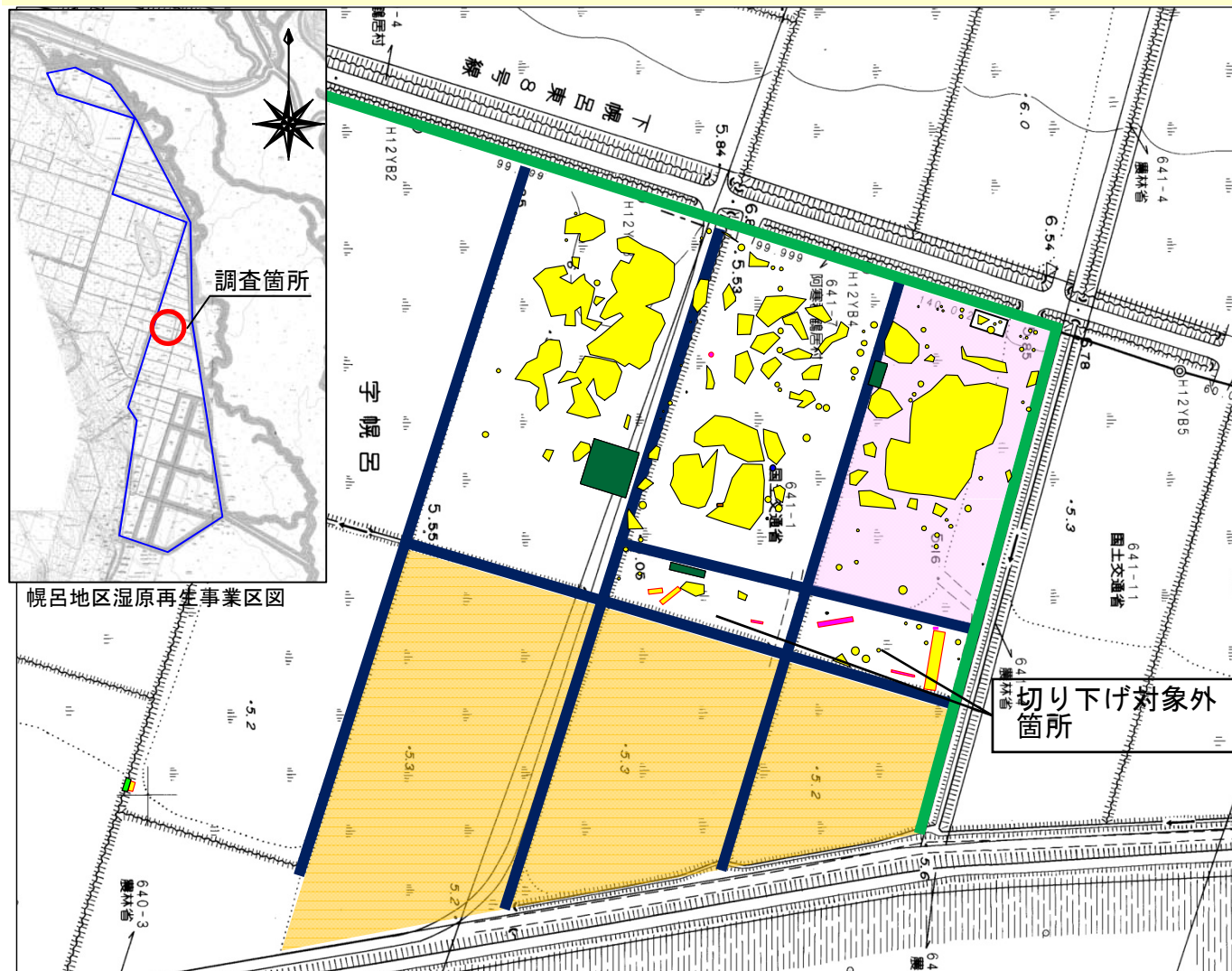
※湿生植物:「北海道の湿原と植物(北海道大学図書刊行会,2003)」掲載種及び神田先生に確認した種



## 2. 平成 2 5 年度の実施内容について

## 2-1. 平成25年度の実施内容について

- ・事前に今年度の工事実施予定区域周辺について、貴重植物及び外来植物の調査を実施しました。
- ・工事実施予定箇所内でヌマドジョウツナギ（環境省RDB：絶滅危惧Ⅱ類）が確認されました。しかしながら、今年度の工事予定箇所で確認された範囲は小さいものであり、また昨年度、埋め戻しを行った箇所にもかかっていることから、移植等を行わないこととします。
- ・オオアワダチソウが広く分布しているため、実施計画にしたがい地下水位以下までの地盤切り下げを行います。



### 平成25年度実施概要

- ・切り下げ面積 A=1.0ha
- ・切り下げ深 H=0.40m



現地状況写真（H25. 8. 20）

### 凡 例

- アカンカサスゲ
- エゾナミキソウ
- チドリケマン
- カキツバタ
- ヌマドジョウツナギ
- オオアワダチソウ
- H25年度実施予定箇所
- H24年度実施箇所
- H24年度盛土箇所
- H24年度未利用排水路埋め戻し箇所

### 3. 地域との連携



## 3-1. 現地見学会（ヨシ移植会）の報告

### 開催概要

#### 「みんなの手で湿原を再生しよう」

- ・開催日：平成25年8月7日（水） 10:00～12:00
- ・開催場所：幌呂地区 湿原再生区域（鶴居村下幌呂）
- ・参加者：23名
- ・調査項目：幌呂地区湿原再生現地見学、ヨシ移植会

#### ◆プログラム

1. 開会（10:00～10:15）
2. 現場見学（10:30～11:30）
  - ・事業説明
  - ・植生回復試験地見学
  - ・湿原再生現場見学
  - ・ヨシ移植体験
3. 閉会（11:45～12:00）



#### 参加者からのコメント（アンケートより抜粋）

- ・機会があればこのような現場での環境学習に参加したい。
- ・今回の活動場所付近で「タンチョウ生息一斉調査」があり児童が数えに行っている。0羽が3羽になった。湿原の再生事業が何らかの好影響を与えているかも。今後の10年20年先の環境や動物の暮らし、気候や気温の在り様に興味を持てるようになった。
- ・小・中・高校生に学校行事としてやらせてみるのはどうか。
- ・湿原の減少にならない対策を考えるべきだ。
- ・詳しい内容を実体験出来て満足した。
- ・親切に指導頂き参加して楽しい。
- ・釧路に住みながら湿原の事は良く解らなかったがいくつか理解出来た様な気がする。



#### 平成26年度計画(案)

現地見学やヨシの移植を通じ、釧路湿原の現状や自然再生について理解していただく。

- ・募集人数：20名程度
- ・時期：7月下旬から8月上旬頃
- ・内容：現地見学及びヨシ移植